

南部クリーンセンターへの落雷について

令和 8 年 8 月 22 日に、南部クリーンセンター（以下「南部 CC」という。）において発生した落雷について、発生状況や現在の対応状況等を御報告いたします。

1 事案の概要

(1) 発生日時及び状況

令和 8 年 8 月 22 日（土）19 時 25 分

焼却施設の煙突の上方部に設置している避雷針に雷が直撃
（監視カメラの録画映像により確認）

(2) 被害発生原因

落雷によって、施設の周囲に瞬間的に過電圧や過電流が発生し、電力線や通信線、アース線などを通して施設内に侵入したことにより、一部の電子機器が損傷、当該電子機器によって制御・稼働する設備に不具合が生じたものと推測される。

(3) 各施設の主な被害状況等（現時点で確認されているもの）

ア 環境学習施設「さすてな京都」

・ エレベーター

監視盤の基盤等が多数損傷し、運転状態の監視ができなくなったため、運転を停止している。

これに伴い、8 月 23 日（日）から同月 25 日（火）まで臨時休館のうえ、同月 27 日（木）から部分的に再開した（5 階のごみクレーン等及び煙突の展望台の見学は現在も不可）。

イ 焼却施設及びバイオガス化施設

(7) エレベーター

上記アと同様

(4) 蒸気タービン発電機（ごみの焼却時に発生する熱から作られる蒸気によって「ごみ発電」を行う設備）

複数の電子機器が損傷し、運転を制御できなくなったため、停止している。

通常運転時は、発電した電気の自家消費により電気の購入が不要であることに加え、余った電気を売却しているが、落雷発生後から発電再開までの間は、電気を購入して焼却施設の稼働を継続していく。

※ 選別資源化施設（粗大ごみ破碎施設）

令和 8 年 1 月に発生した火災の影響により停止中である。

(4) 各施設の復旧の見通し等

ア 環境学習施設「さすてな京都」

・ エレベーター

損傷した基盤の調達に時間を要するため、現時点で復旧時期は未定である。

イ 焼却施設及びバイオガス化施設

(7) エレベーター

上記アと同様

(4) 蒸気タービン発電機

電子機器の補修を行い、9月12日(土)に運転(発電)を再開予定である。

なお、発電再開までの電気購入費は約76百万円、また、売電収入の減は約67百万円となる見込みである。

2 今後の対応

被害を受けた設備の修繕等を進め、できる限り早期の復旧を目指す。